

あなたもお読みください
真実つたえ希望はこぼ

しんぶん 赤旗

日刊 1カ月 3,497円
日曜版1カ月 823円

手良民報

生活相談はお気軽に
電話 78-0943 (高橋)
08051428896 (大場美広)

(毎月赤旗読者に配達)

(民報のみは月100円)
発行 日本共産党・手良支部

多くの委員で出発

地域協議会の第1回会議

手良地域協議会の本年度第1回会議が5月24日に手良公民館で行われ委員47名のうち33名が出席しました。

手良では手良地区活性化促進会議をもつて手良地域協議会に充てることになりました。委員の人数も18名から47名と大層に増員となりました。なお、手良では公募による委員は選出されておられません。

委員に市上の委嘱状が交付され、委員の自己紹介があり、会長より「委嘱状をいただき責任を重く感じている。手良は二つの山々が見える素晴らしい土地であり、この地に大勢の方が集まり、人口減を最小限に留めたい。まちづくりの交付金も計画した金額をはるかに上回る要請が出され地域を思う気持ちが強く感じられておられます。

協議事項では地域協議会の役割について地域自治条例・機軸、手良地域協議会の規約などについて説明がありました。

伊那市協働のまちづくり交付金事業については手良地区へは1,198,000円が交付され手良地区活性化促進会議活性化対策事業、中組・鳥の宮湧水取水施設整備事業、手良春日城跡の整備事業、子どもの安全を守り活動、南部常会通交路

「一人区になってしまったから、自民党に勝つためには止むを得ない」とか、「切り切った歩き出したところ、杉尾さんが立派な走りを見せてくれた。力強く、大きな連帯は、杉尾さんの当選と、共産党の勝利にさらに励まされました。

決して「やたらと通ずるはい！」(注・「ノーバカソラス」イバインの政治家ドロリス・イバリが「スベ」解放の際に行った演説の一部)という決意を固め、運動の新たな前進を目指して「平和の夏」を元気にいきたいと思います。



地域協議会

野党統一候補 杉尾ひでやさんの 当選に歓喜

七月十日の参議院選挙、手良選挙区で野党統一候補の杉尾ひでやさんがみごと当選しました。

さらには日本共産党は中野市出身で長野県重点候補の武田良介さんをはじめ比例代表の五人と東京選挙区の山添さんの6人が当選、改選議席倍増の結果を得ることができました。

まずはこの勝利を喜び合い、応援していた皆さんに感謝申し上げたいと思います。私は、今回の選挙を、これから日本の政治の方向性を示す画期的なものだったと思っています。

正直、これまで何十回もの選挙で共産党の候補者を応援して来た私にとつて、すばらしい候補者だと自信を持って

「選挙」を行ったことがないと言ふ人にも一生懸命にお願いしました。

祝日に日の丸を玄関先に掲げてはいるおじいさんにも「共産党は大原則も含めて今の憲法を守ります」と詳しく話をし、支持をお願いしました。その人は開票の翌日十手草を刈るのを止め、道まで出てきて「良かったな」と言っ



日本共産党
安心・安全まっしぐら責任者
大場美広

メッセージ

みなさんの口頃の「奮闘」に心から敬意を表します。

7月10投票の参議院選挙では野党と市民の共闘は、最初の挑戦としては大きな成功をおさめました。

全国33の一人区すべてで野党統一候補を実現し、長野県選挙区の杉尾秀哉新参議院議員、新潟選挙区の森裕子新参議院議員をはじめ、1-1の選挙区で激戦を制して自民党候補に勝利しました。

日本共産党は、改選3議席を6議席へと倍増、私、武田良介も長野県初の参議院議員として当選しました。

選挙の結果、改選勢力が議席の3分の2を占めました。自公は選挙戦で「憲法隠し」に終始し、国民は改憲への「白紙委任」を与えただけでは決してありません。

日本の政治を変えるため、みなさんと一層連帯を強め、がんばる決意です。

日本共産党参議院議員 武田良介

瓜天王に向けて 俳句を募集

井上井月を偲ぶ句会 は手良公民館と共催で今年も中坪の「瓜天王」(祇園祭)に向けて俳句を募集し手良全域を中心に22句(男性12名、女性10名)が集まりました。

その中から5句

ありし日の夏を思ふや瓜天王
赤羽芳一

はつたりのきゅうりかかける子
菅野明子

夏休みフライをたべたわとは
酒井夏美(小2)

夏ま過ぎて雨の合間に麦を知る
向山勇

腰びくの人影見えぬ田植かな
向山孝子

提出された俳句は、14日の、中坪の「瓜天王」の夜、大きな箱灯籠へ掲示し境内の仮殿の横へ設置し祭りの雰囲気を感じ上げました。



手良公民館玄関先



瓜天王仮設脇

過日大腸がんの手術をした。ステージ1で転移がなかったという週間くらいで退院できる予定が腸閉塞を誘発して4週間も入院してしまった▼それはともかく、そもそもそのがんの発見は4月8日に野口公民館で行われた上伊那医療生協手良支部がホランアリアと職員協力で行っている健康チェックの便チェックであった。便チェックは容器代が200円かかるが誰でも簡単にできる方法である。その検査の結果が陽性になったので4月27日に大腸の内視鏡の検査をしたらがんが見つかった▼なにはともあれ早期に発見できて良かった。この健康チェックの便チェックでがんを早期発見して事なきを得たひとを向人か知っている▼上伊那医療生協手良支部では昨年一年間に手良全域で健康チェックの班を14か所で行い110人が参加した。JA手良支所まつりには街角健康チェックということで45人のみなさんが受診してくれました。まだまだ参加者は多くないががんなどの病気が早期発見が治療のカギである。上伊那医療生協の地域の方々の健康を守るといふ主旨からいってもこのようなことは一層発展させていかなければならない▼上伊那医療生協は上伊那全域に医療介護のネットワークがあり、手良でも医療生協の組合員は304戸で全戸数の38.8%となっている。八ッ手地区では全世帯の54.4%が加入している。高齢社会を迎え一層の活動が期待される。(T)

宮原達明さんの「農に生きる」

③ を読んで

(4) 著書の中では、井月や安藤昌益についても触れられているが、井月に関しては著者は「も知る君月影の主人」のパーであり、「井月の日記」という内容の濃い立派な著書もあり、私ごときが論ずる資格はない。

また、安藤昌益については著者も簡単に語っているだけであり、著書の中だけでは異色の一文であるが、依然ここから求められて書いた文章なのかも知れない。この江戸中期の稀有な思想家が、「胃耕の人」(自ら耕して食料を生産する)である農民こそが社会の主人公であるべきであるとして、農民を中心とする平等の社会を密かに構想したという点に宮原さんには魅かれ、共感したのでと思う。

私的な話になって恐縮だが、安藤昌益については、日本の歴史について日本人よりも深く鋭く考察したH. H. ノーマンというカナダ人の歴史家・外交官が書いた「忘れられた思想家 安藤昌益のこと」という著作を

思い出す。ノーマンは長野で生まれ育ち(父親が宣教師)、ハーバート大学で学び、戦後再び日本へやって来て外交官として活躍。初代駐日カナダ大使の知り人も多かったが、やがてアメリカの「赤狩り」(いわゆるマッカーシー旋風)の犠牲となり、エジプト大使に赴任中自殺してしまったことを、今の若い人たちが(研究者も含めて)は知らないと思う。当時高校3年だった私は、ノーマンの業績など知るよしもなかったが、新聞でそのニュースに接し、「これはどういうことだ?」と疑問を持たれたことを覚えている。

3 Vの「これからの農業を考える」は、現在の農業が直面している切実な諸問題についての、いわば問題提起である。高度成長に伴う農村の激変、いわく兼業化、高齢化、土地を維持することのむずかしさ、新しい住民との摩擦など、将来展望は厳しい。著者は自らに問いかける。「多くの農民の顔に、自信と誇りを取り戻すことは果たして可能だろうか」と。それについては、二つの道があると言っている。一つは土地を集積し、規模を拡大する方向。これは少数の

若い人向きに。もう一つは、自給的な農業を柱にする伝統的な農業にこだわった行き方。これは定年退職者や高齢者が趣味の範囲で指摘する。かつて農業高校の校長として生徒諸君と向き合った時の農業論の一部かも知れない。多少楽観的に感じるのは私の僻み(ひがみ)であろうか。

しかし、TPPでも危惧される通り、国の農業政策の行方は決して明るくない。米が自給でまわっているだけで、食糧確保の安全確保は目途が立っていない。TPP交渉の経過は黒塗りだらけの資料で、国会の議論も全く低調である。こんな国民をどうわけ農民を愚弄した話はない。著者も恐ろしく切迫感を感じていることだろう。

そうした問題を抱えながらも、この本は農業に決して絶望してはいないし、むしろ二説して一種の明るさを感じる。(直光所など)それは著者の、昔の頃から農業に対する限らない愛情・愛着、そして自然への畏敬がなされるべきであると私は信じている。(終)

(北原 明)

生活雑記

147

国産の横綱

小松利江

相撲が始まると楽しみだ。一瞬で勝負が決まり力士が次々変わっていくので面白い。濃藤、勢、琴奨菊、稀勢の里、早く此の力士が横綱になってほしい。

外国の力士は張手が自立者、力と力の取っ組み合いが本立に

少なくなってしまう、つまらない。せめて顔だけは張手を止めて正々堂々と力比べをしてファンを楽しませて下さるようお願いしたいものだ。

大男が取っ組み合うあの瞬間、あの体当たりの時のすごい音、魅力的だ。

男の中の男を感じる素晴らしい。此の二瞬がたまらない。

昔は三分近い長い勝負の取り組みがあったり、水入りという

今はテレビに映る時代。やっぱの格好良い力士を応援したくなる。

濃藤、勢が土俵に上がると凄い声援に会場が熱気に包まれて、相手力士のいなちが目に見え



毎月3日にスタンディングアビール 手良9条の会

「手良9条の会」は毎月3日午後1時から30分間中坪公民館前庭で会長を先頭にスタンディングアビールを行っています。これは「全国9条の会」呼びかけ人・ノンフィクション作家の澤地久枝さんが提唱したもので、俳人の金子兜太さんが書いた「アベ政治はゆるさない」のイラストを掲げる全国一斉の行動です。

「憲法を守る」手良9条の会「戦争法廃止 全国一斉行動 手良9条の会」の横断幕も掲げアビールします。5月は多く参加し30分間を通った車は106台、6月は4人で59台、7月は5人を挙げて応える人も増えていきます。

「手良9条の会」では皆さん一緒にやりましょうと呼びかけています。



5月3日スタンディング

上伊那医療生協手良支部

健康チェック行われる

上伊那医療生協手良支部では地域の皆さんの健康のために役立てられ、組合員や地域の皆さんに呼びかけて希望により常時健康チェックを行っています。

本年度になってからも4月12日に野口公民館で8名、7月12日堀之内公民館で6名、7月16日に八ッ手高齢者クラブで17名が参加して行われました。近く中坪老人クラブも予定を定めて上伊那医療生協の職員と組合員がボランティアで支援し、血圧測定、B C(内脂肪測定)、尿の検査、骨密度検査、尿チェックなどを行います。希望者には大腸がんの便チェックも行います。この検査により早期に癌を発見した人もあります。今は何処の医療機関でも検査をやっているが尿チェックによる癌検出率は医療生協独特のものではないかと感じています。

健康チェックは行われてはいるが、医療機関で行ってほしい。他に軽い体操や認知症予防の脳いきいき体操、またその時々の健康講話も行い、お茶を飲みながら皆で気楽に相談します。

手良支部では気楽に参加をと呼びかけています。



八ッ手高齢者クラブ

野草教室に新緑を訪ねて 野草教室

手良公民館主催の本年度第一回目の野草教室は5月20日に行われ例年より少し少ない15名の参加者のうち14名が参加しました。今回は「権兵衛峠に新緑を訪ねて」と銘打って伊那と木曾の境にある権兵衛峠にバスで行ってきました。講師の柄山祐希先生は91歳と4か月ですが、かかしくとへて記憶力よく次から次へと話した語り歌ってました。草木の名前などを語ることは勿論、通る道々の歴史を語り



野草教室

先生の人生を振り返って教訓の押し付けでなく、やんわりと話されます。自然を愛し、森林は一つの連関した植物の社会を作っているの(菅野(森林管理)など)が植物の生態を無視して草刈りを行った植物が消滅してしまうのを嘆いていました。箕輪出身の歌人 藤沢吉見が大好きで「つがの木の繁りが遠く降る雨のひびきばかり暗き林」などを朗詠してくれました。

俳句 蕨薇園 白鳥みず子

青空をコスモス色に映す散髪道 蕨薇園は色彩豊かややれし 境内は香りの漂う新芽かな 痛く足に気持よく歩いていなり 秋祭の稲穂もたれて踊ってる



中坪公民館で絵手紙教室やっています

連絡先 高橋 7810943



向山光子

二重平に老人ホーム

野口二重平に住宅型有料老人ホーム「ぬくもり」が完成し7月12日からオープンしています。

「南アルプスが一望できる日当たりのよい場所、安全で安心して「自分らしく」過ごしていただけるよう支援させていただきました」と呼びかけています。デザイナー・センサーも併設されています。

個室が9室あり、13.70㎡の部屋は月額利用料128,000円、16.05㎡の部屋は月額利用料は138,000円となります。

事業主は特定非営利活動法人「おもしろい」(高遠町藤沢の「宅老所ふじさわ」関連)です。



老人ホーム「ぬくもり」

(おねがい) 身近な出来事を、早く皆さんにお伝えしたいと思えます。何かありましたら左記まで連絡をお願いします。 七八〇九四三 高橋